

里親制度に関心のある人は県北児童相談所に問い合わせてください。  
 問い合わせ 県北児童相談所 ☎0287(36)1058



皆さんは「里親」と聞くと、どのようなイメージを持ちますか？「養子縁組することかな？」「特別な資格が必要なのかな？」今回は、実親の元で暮らすことのできない子どもたちを家庭的環境の中で愛情を持って養育している“里親”について紹介します。

## 里親になるためには

研修を受けたり経済的に困窮していなかったり、いくつかの要件がありますが、何よりも必要なのは子どもの養育に対する理解と熱意、そして子どもへの豊かな愛情です。現在、市内ではすべての種類を合わせて22世帯の里親が登録されています。

### ①相談

里親制度の説明をします。里親制度について理解できたら、家族同意の上で研修受講の申し込みをしてください。



### ②研修

基礎研修・登録前研修では、里親制度などについて説明します。



### ③申請・調査

研修の修了者は里親登録の申請ができます。児童相談所の担当職員や居住地の福祉事務所担当が家庭訪問し、調査を行います。



### ④審査・登録

調査後、県で適否の審査を行います。認定されると、里親名簿に登録されます。

登録後、**養育里親・養子縁組里親**は5年、**専門里親**は2年ごとに更新研修の受講が必要です。

## 短期の里親も求められています

「児童養護施設」で暮らす子どもたちが、家庭的な雰囲気を体験するために「ふれあい里親」事業を実施しています。夏休みなどの長期休暇中に、短期間(1~2泊程度)の里親家庭への外泊を行います。

また、実親の入院などで一時的に養育者が必要になる子どももいます。地域の里親が支援することで学校への通学を継続することができたり、環境を大きく変えずに生活することができたりと、子どもにとってはとても大きなメリットがあります。

## 市内の里親の声



—毎日が本当に  
楽しくなりました—

養子縁組里親  
Mさん(市内在住)

### きっかけは気軽な気持ちの問い合わせ

以前から子どもは欲しかったのですが、仕事の関係もあいなかなか難しかった中、里親募集のポスターを偶然見かけて問い合わせたのがきっかけでした。その後里親に認定されてからは、いつ連絡が来るのかとワクワクしていましたが、なかなかマッチングには至りませんでした。

私たち夫婦の年齢なども考慮し、里親の登録更新をしない予定だった認定5年目に、児童相談所から突然連絡が。そこから夫婦で相談し、何度も子どもに会いに行きました。そして昨年5月、待望の里子を迎えることができました。

### 大変なことはあっても、楽しいことのほうが多い

最初のころは、夕方になると泣き出したり、乳児院ではよく食べていたご飯を食べなくなったりと大変な面も少しありました。でも、それ以上に毎日が本当に楽しく、外出する機会も増え、子どもを迎えるとこんなにも生活が変わるのかと実感しているところです。育児日誌やアルバムを見返すたびに「里親になってよかった」という思いがこみ上げてきます。初めは反対していた親族もとてもかわいがって支えてくれているので感謝しています。



### 後悔しない人生を

子どもが欲しい人、あきらめきれない人には、里親になるというのは一つの選択肢だと思います。もともと夫婦も他人同士ですし、大切なのは後悔しない人生をどう送るか。子どもに愛情を注ぐのはもちろんですが、自分自身も楽しんで生活できている今、とても幸せです。

## ますます必要とされている里親

家庭で暮らせない子どもたちの生活場所としては「児童養護施設」がありますが、子ども4人に対し大人1人が関わるので限界があります。特に幼少期の子どもには、健やかな成長のために特定の大人との「愛着形成」が必要です。いつも一緒に生活する大人との愛着が安心感、信頼感を与え、感情のコントロールを始めとする心の健全な発達を促します。日によって担当者が変わる児童養護施設と違い、子どもに対して家庭的に愛着を持って接することのできる里親は、近年増え続ける児童虐待などの影響もあり、さらに重要な存在となっています。

## 里親の種類

### 養育里親

家族と暮らせない子どもを一定期間養育する里親です。養育期間は、子どもの状況に応じて変わります。

#### 【専門里親】

養育里親の中でも、虐待や非行、障害などの理由で専門的な援助を必要とする子どもを養育する里親です。

### 養子縁組里親

養子縁組をして、養親となることを希望する里親です。

### 親族里親

実親が死亡、行方不明などで養育できない場合に、親族が子どもを養育する里親です。

## 里親のための支援があります

- 養育費として里親手当、生活費、学校教育費、入学支度費などが支給されます。医療費は全額公費負担となります。
- 委託した里親と子どもとの関係構築を支援します。
- 里親同士の交流により、情報交換や育児相談ができます。

